

2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス

コード番号 4928 URL <https://www.noevirholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121

定時株主総会開催予定日 2019年12月5日 配当支払開始予定日 2019年12月6日

有価証券報告書提出予定日 2019年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期の連結業績 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	59,252	2.5	11,992	5.7	12,247	5.8	7,226	△7.9
2018年9月期	57,828	6.2	11,343	13.6	11,577	12.5	7,842	10.8

(注) 包括利益 2019年9月期 7,120百万円(△11.3%) 2018年9月期 8,024百万円(3.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	211.57	—	13.8	14.7	20.2
2018年9月期	228.56	—	14.1	13.1	19.6

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 一百万円 2018年9月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	83,330	52,946	63.3	1,543.72
2018年9月期	82,809	51,998	62.6	1,517.61

(参考) 自己資本 2019年9月期 52,728百万円 2018年9月期 51,836百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	10,191	△2,067	△6,287	30,448
2018年9月期	4,965	△1,119	△15,503	28,701

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	—	0.00	—	180.00	180.00	6,148	78.8	11.3
2019年9月期	—	0.00	—	200.00	200.00	6,831	94.5	13.1
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	200.00	200.00		80.4	

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,700	0.7	6,100	0.6	6,200	0.5	2,900	2.8	84.90
通期	59,800	0.9	12,300	2.6	12,500	2.1	8,500	17.6	248.85

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期	34,156,623株	2018年9月期	34,156,623株
② 期末自己株式数	2019年9月期	56株	2018年9月期	56株
③ 期中平均株式数	2019年9月期	34,156,567株	2018年9月期	34,312,699株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる数式については、添付資料16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略	5
(2) 目標とする経営目標	5
(3) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(連結貸借対照表関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

《概況》

	2018年9月期		2019年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	57,828	100.0	59,252	100.0	1,424	2.5
化粧品事業	42,616	73.7	45,175	76.2	2,558	6.0
医薬・食品事業	13,199	22.8	12,036	20.3	△1,162	△8.8
その他の事業	2,013	3.5	2,041	3.5	28	1.4

	2018年9月期		2019年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	11,343	19.6	11,992	20.2	648	5.7
経常利益	11,577	20.0	12,247	20.7	670	5.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,842	13.6	7,226	12.2	△616	△7.9

当連結会計年度（2018年10月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み緩やかに回復しているものの、海外経済の不確実性などにより、景気の動向は不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高59,252百万円（前期比2.5%増）、営業利益11,992百万円（同5.7%増）、経常利益12,247百万円（同5.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7,226百万円（同7.9%減）となりました。営業利益、経常利益につきましては、過去最高となりました。

《セグメント別の状況》

(a)化粧品事業

	2018年9月期 (百万円)	2019年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	42,616	45,175	2,558	6.0
セグメント利益	12,155	13,183	1,028	8.5

化粧品事業は、売上高45,175百万円（前期比6.0%増）、セグメント利益13,183百万円（同8.5%増）となりました。

カウンセリング化粧品は、高級品シリーズが好調に推移しました。

セルフ化粧品は、新商品や既存品シリーズが好調に推移しました。

(b)医薬・食品事業

	2018年9月期 (百万円)	2019年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,199	12,036	△1,162	△8.8
セグメント利益	1,309	1,312	2	0.2

医薬・食品事業は、売上高12,036百万円（前期比8.8%減）、セグメント利益1,312百万円（同0.2%増）となりました。

ドリンク及び栄養補助食品の売上は前期を下回りました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の効率的な運用などにより前期を上回りました。

(c)その他の事業

	2018年9月期 (百万円)	2019年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,013	2,041	28	1.4
セグメント利益	135	70	△64	△47.7

その他の事業は、売上高2,041百万円（前期比1.4%増）、セグメント利益70百万円（同47.7%減）となりました。

アパレル・ボディファッション関連及び航空関連は、堅調に推移しました。

(注) セグメント利益及び損失は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用調整前の金額であります。なお、当連結会計年度のセグメント利益の調整額の詳細につきましては14ページ及び15ページ「(セグメント情報)③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報(注)1」をご覧ください。

②次期の見通し

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を目指すことにより、2020年9月期の連結業績は、売上高598億円、営業利益123億円、経常利益125億円、親会社株主に帰属する当期純利益85億円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ520百万円増加し、83,330百万円となりました。主に、現金及び預金が1,964百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ427百万円減少し、30,383百万円となりました。主に、長期預り保証金が503百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ947百万円増加し、52,946百万円となりました。主に、前期末配当6,148百万円による減少と、親会社株主に帰属する当期純利益7,226百万円により、利益剰余金が1,078百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は63.3%、1株当たり純資産は1,543.72円となり、前連結会計年度末に比べて自己資本比率は0.7%の増加、1株当たり純資産は26.11円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末の28,701百万円に比べ1,746百万円増加し、30,448百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は10,191百万円（前期比5,226百万円の収入増）となりました。主に、税金等調整前当期純利益11,033百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2,067百万円（前期比948百万円の支出増）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出1,832百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は6,287百万円（前期比9,215百万円の支出減）となりました。主に、配当金の支払6,147百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期
自己資本比率(%)	62.4	62.2	63.2	62.6	63.3
時価ベースの自己資本比率(%)	104.9	121.7	234.9	255.3	231.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	5.5	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	7,802.6	3,280.3	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債（利子込み法によるリース債務を除く）を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と考えております。よって、中長期的な事業展開と経営体質の強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金は上記方針に則り、直近の配当予想から20円増配し、1株当たり普通配当200円といたします。

次期の配当金は、1株当たり普通配当年間200円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を達成するため、以下5つの方針を実行してまいります。

1. 日本市場でのイノベーションと持続的利益創出
2. ブランド価値の向上
3. 人材、組織の多様化加速
4. 研究開発・生産・物流の多様化加速による競争力強化
5. 変化に対応できる経営の推進

(2) 目標とする経営指標

当社グループでは、売上高、営業利益及び自己資本当期純利益率/ROEを重要な経営指標とし、企業価値の最大化と収益性の向上を実現してまいります。

(3) 会社の対処すべき課題

当社グループの主要事業である化粧品、医薬・食品事業の市場における変化や多様化に対応するため、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を推し進めていくことが対処すべき課題と認識しております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較継続性や海外市場での資金調達の実現性が低いこと等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,775	30,739
受取手形及び売掛金	11,764	10,827
商品及び製品	6,618	7,050
仕掛品	104	98
原材料及び貯蔵品	1,448	1,494
未収入金	4,087	3,309
その他	546	537
貸倒引当金	△23	△36
流動資産合計	53,321	54,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,259	4,946
機械装置及び運搬具（純額）	2,717	2,451
土地	13,716	13,713
リース資産（純額）	1,331	1,227
建設仮勘定	601	614
その他（純額）	222	261
有形固定資産合計	※1 22,849	※1 23,213
無形固定資産		
のれん	2	302
ソフトウェア	131	114
その他	91	78
無形固定資産合計	225	494
投資その他の資産		
投資有価証券	2,490	1,522
退職給付に係る資産	192	—
繰延税金資産	2,477	2,542
その他	1,277	1,567
貸倒引当金	△25	△32
投資その他の資産合計	6,413	5,600
固定資産合計	29,488	29,309
資産合計	82,809	83,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,000	2,704
リース債務	115	112
未払金	3,119	2,968
未払法人税等	2,155	2,150
賞与引当金	81	101
返品調整引当金	391	360
その他	938	1,237
流動負債合計	9,802	9,634
固定負債		
リース債務	1,325	1,217
長期預り保証金	13,875	13,371
繰延税金負債	432	469
退職給付に係る負債	5,240	5,315
その他	135	375
固定負債合計	21,008	20,749
負債合計	30,811	30,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	43,796	44,875
自己株式	△0	△0
株主資本合計	51,115	52,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	913	861
為替換算調整勘定	△97	△218
退職給付に係る調整累計額	△95	△109
その他の包括利益累計額合計	720	534
非支配株主持分	162	218
純資産合計	51,998	52,946
負債純資産合計	82,809	83,330

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	57,828	59,252
売上原価	20,588	21,039
売上総利益	37,240	38,213
販売費及び一般管理費		
販売促進費	4,804	4,648
広告宣伝費	1,389	1,293
給料手当及び賞与	6,394	6,387
賞与引当金繰入額	88	83
退職給付費用	529	521
減価償却費	1,214	1,219
研究開発費	1,046	1,097
その他	10,428	10,968
販売費及び一般管理費合計	25,896	26,220
営業利益	11,343	11,992
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	15	13
受取保険金	2	60
保険配当金	103	83
その他	131	112
営業外収益合計	259	278
営業外費用		
為替差損	22	23
その他	2	0
営業外費用合計	25	23
経常利益	11,577	12,247
特別利益		
固定資産売却益	15	2
投資有価証券売却益	58	4
特別利益合計	73	6
特別損失		
固定資産除売却損	46	5
投資有価証券売却損	—	5
投資有価証券評価損	—	898
退職給付制度終了損	—	311
特別損失合計	46	1,220
税金等調整前当期純利益	11,604	11,033
法人税、住民税及び事業税	3,553	3,751
法人税等調整額	132	△41
法人税等合計	3,685	3,709
当期純利益	7,919	7,324
非支配株主に帰属する当期純利益	76	97
親会社株主に帰属する当期純利益	7,842	7,226

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	7,919	7,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△52
為替換算調整勘定	6	△137
退職給付に係る調整額	4	△13
その他の包括利益合計	104	△203
包括利益	8,024	7,120
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,950	7,040
非支配株主に係る包括利益	73	80

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	51,243	△0	58,562
当期変動額				
剰余金の配当		△5,317		△5,317
親会社株主に帰属する当期純利益		7,842		7,842
自己株式の取得			△9,971	△9,971
自己株式の消却		△9,971	9,971	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	△7,446	△0	△7,447
当期末残高	7,319	43,796	△0	51,115

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	819	△107	△99	612	189	59,365
当期変動額						
剰余金の配当						△5,317
親会社株主に帰属する当期純利益						7,842
自己株式の取得						△9,971
自己株式の消却						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	94	9	4	108	△27	80
当期変動額合計	94	9	4	108	△27	△7,366
当期末残高	913	△97	△95	720	162	51,998

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	43,796	△0	51,115
当期変動額				
剰余金の配当		△6,148		△6,148
親会社株主に帰属する当期純利益		7,226		7,226
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	1,078	—	1,078
当期末残高	7,319	44,875	△0	52,193

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	913	△97	△95	720	162	51,998
当期変動額						
剰余金の配当						△6,148
親会社株主に帰属する当期純利益						7,226
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△52	△120	△13	△186	56	△130
当期変動額合計	△52	△120	△13	△186	56	947
当期末残高	861	△218	△109	534	218	52,946

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	11,604	11,033
減価償却費	1,850	1,808
のれん償却額	45	10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	15
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	3	△31
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	12	△43
受取利息及び受取配当金	△22	△21
為替差損益 (△は益)	△1	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△58	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	898
固定資産除売却損益 (△は益)	30	3
退職給付制度終了損	—	311
売上債権の増減額 (△は増加)	168	905
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△969	△513
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,857	△284
預り保証金の増減額 (△は減少)	△447	△503
その他	△377	△545
小計	8,969	13,068
利息及び配当金の受取額	19	19
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,024	△2,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,965	10,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△72	△170
定期預金の払戻による収入	72	170
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	145	49
有形固定資産の取得による支出	△1,261	△1,832
有形固定資産の売却による収入	43	5
無形固定資産の取得による支出	△44	△24
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△2,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△9,971	—
配当金の支払額	△5,315	△6,147
非支配株主への配当金の支払額	△100	△24
その他	△115	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,503	△6,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,648	1,746
現金及び現金同等物の期首残高	40,350	28,701
現金及び現金同等物の期末残高	28,701	30,448

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「その他」134百万円は、「受取保険金」2百万円、「その他」131百万円として組替えております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が745百万円減少し、「投資その他の資産」が738百万円増加しております。また、「固定負債」の「繰延税金負債」が7百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が7百万円減少しております。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	25,751百万円	27,520百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主として化粧品及び医薬品・食品の製造販売事業とアパレル・ボディファッション関連及び航空関連等のその他の事業を営んでおり、変化や多様化が進む市場環境に対応した戦略に基づく事業活動を行っております。

したがって、当社グループは、取り扱い商品を基礎とした事業別セグメントから構成されており、以下の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」は、化粧品及びトイレタリーの製造販売、化粧雑貨の仕入販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品及び食品の製造・仕入販売を行っております。

「その他の事業」は、アパレル・ボディファッション及び航空機・船舶の仕入販売、航空運送・操縦訓練事業、その他を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2018年12月7日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	42,616	13,199	2,013	57,828	—	57,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	190	190	△190	—
計	42,616	13,199	2,203	58,019	△190	57,828
セグメント利益	12,155	1,309	135	13,600	△2,257	11,343
セグメント資産	53,181	20,062	1,308	74,552	8,257	82,809
その他の項目						
減価償却費	1,312	627	38	1,978	△128	1,850
のれんの償却額	2	43	—	45	—	45
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,133	222	44	1,400	△25	1,375

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,257百万円の内訳は、セグメント間取引消去696百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,954百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券等）及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	45,175	12,036	2,041	59,252	—	59,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	180	180	△180	—
計	45,175	12,036	2,221	59,433	△180	59,252
セグメント利益	13,183	1,312	70	14,566	△2,574	11,992
セグメント資産	55,310	17,823	2,388	75,523	7,807	83,330
その他の項目						
減価償却費	1,266	557	44	1,868	△59	1,808
のれんの償却額	0	2	7	10	—	10
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,661	264	104	2,029	△35	1,994

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,574百万円の内訳は、セグメント間取引消去693百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,268百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券等)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去等によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	0	2	—	—	2

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	302	—	302

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	1,517.61円	1,543.72円
1株当たり当期純利益金額	228.56円	211.57円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	51,998	52,946
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	162	218
(うち非支配株主持分)	(162)	(218)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	51,836	52,728
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	34,156,567	34,156,567

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,842	7,226
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,842	7,226
普通株式の期中平均株式数(株)	34,312,699	34,156,567

(重要な後発事象)

該当事項はありません。